

平成 24 年度事業報告

< 一 般 会 計 >

第 1 馬の改良増殖、保護・利用増進及び馬事知識の普及事業（公益目的事業）

1. 乗用馬等の生産育成振興事業

(1) 乗用馬等の生産育成指導事業

ア. 北海道地区及び岩手県遠野地区の乗用馬生産農家の組織強化と乗用馬生産基盤を強化するため、乗用馬の計画的生産の促進、現地に適した生産体制について検討会（釧路市 10 月 27 日、遠野市 10 月 14 日）を開催した。

イ. 遠野で生産された乗用雌馬キキ・オスカルⅢ号を繁殖用として買い上げるとともに、JRA から贈与を受けたブラックパチア号を繁殖用として貸し付けた。

(2) 日本在来馬の保存活用推進事業

日本在来馬の保存活用に係る各馬種団体の保存活動の円滑な運営と活性化を図るため、現地調査を行うとともに連絡会議等（北海道和種：4 月 19 日、木曾馬：5 月 21 日、御崎馬：9 月 26 日）へ出席した。

(3) 日本在来馬の保存登録

在来馬の保存のため、北海道和種（血統登録：147 頭、繁殖登録：44 頭）、木曾馬（血統登録：9 頭、繁殖登録：8 頭）、野間馬（血統登録：5 頭、繁殖登録：1 頭）、及び宮古馬（血統登録：21 頭、繁殖登録：6 頭）について登録を行うとともに対州馬については、継続して登録を行うよう指導した。

2. 農用馬等の生産振興対策事業

(1) 農用種雄馬の整備事業

農用馬の資質の向上と増産を推進するため、家畜改良センター有種雄馬 7 頭（ペルシュロン 2 頭、ブルトン 5 頭）を借り受け、馬産地に配置（転貸）した。

また、ばんえい競馬で優秀な成績を残した競走馬の中から 1 頭を購入し、種雄馬として生産地に配置した。

① 家畜改良センター有種雄馬の借受と配置

・年齢 2 歳 6 頭、3 歳 1 頭

品種別配置先頭数 (単位：頭)

区 分	空知	函館	岩手	熊本	計
ペルシュロン			1	1	2
ブルトン	1	1	1	2	5
計	1	1	2	3	7

② 本会有種雄馬の購買と配置

品種別配置先頭数（国内購買） (単位：頭)

区 分	十 勝	計
ばんえい馬	ナリタボブサップ (11 歳、半血種 (輓系))	1

(2) 種馬登録事業

北海道においては輓系馬、乗系馬及び小格馬、岩手県においては輓系馬及び乗系馬、青森、島根、熊本、宮崎の各県においては輓系馬を主体に登録を行った。また、その他の地域においても乗系馬を主体に随時登録を行った。

①登録事務の推進

種馬登録事務の適正かつ円滑な実施を図るため、本部及び北海道事務所に技術者、事務員を配置して登録事務に当たったほか、関係団体等の協力を得て登録事務を行った。

ア. 登録審査委員の委嘱等

登録審査委員については、人事異動等必要に応じ、本会役職員、学識経験者、関係団体の役職員のうちから適任者を委嘱（又は任命）〔新規5名、平成25年3月末現在59名〕した。

イ. 登録審査委員研究会の実施

登録審査を厳正に実施するため、6月14日に独立行政法人家畜改良センター十勝牧場で登録審査委員を対象に登録実務者研究会（参加者21名）を開催した。

②登録審査の実施

登録申込みのあった馬については、関係書類及び実馬を審査して登録を行った。

平成24年度種馬登録・個体識別等頭数

(単位:頭、%)

区 分	農 用 馬 等					在来馬	合 計		
	輓 系	乗 系	小 計	小 格	計		頭 数	前年度比	
血統登録	北海道	1,279	166	1,445	215	1,660	—	1,660	88.9
	都府県	204	52	256	3	259	—	259	99.6
	計	1,483	218	1,701	218	1,919	182	2,101	90.2
繁殖登録	北海道	184	31	215	80	295	—	295	79.7
	都府県	54	25	79	1	80	—	80	121.2
	計	238	56	294	81	375	59	434	86.0
計	1,721	274	1,995	299	2,294	241	2,535	89.5	
個体識別証明 内国産馬証明	北海道	—	15	15	15	30	—	30	150.0
	都府県	—	14	14	6	20	—	20	142.9
	計	—	29	29	21	50	—	50	147.1
合 計	1,721	303	2,024	320	2,344	241	2,585	90.3	

(注) 前年度比には、在来馬の頭数は含まない。

(3) 農用馬生産推進事業

①農用種雄馬の適正配置

ア. 種雄馬配置協議会の開催

家畜改良センターから借受けた種雄馬の適正配置を図るため、十勝牧場に配置を希望する団体（7団体）の参集を得て配置協議会（11月14日）を開催し、種雄馬7頭を配置した。

イ. 種雄馬の管理指導

(a) 配置種雄馬の管理を適正に行うため、本会の職員等が配置先を巡回し、管理

状況の把握と管理指導を行った。

- (b) 交配種雄馬の選定、配置転換及び登録審査等の参考に資するため、本会有配置馬、家畜改良センター有馬及び民間有の種雄馬等（種畜検査合格馬）を網羅した種雄馬名簿を作成し、関係者に配布した。

②農用馬の生産振興

ア．農用馬の生産技術の指導

農用馬の生産を促進するため、技術者及び飼養者を対象とした技術講習会等を開催するため、7団体に指導奨励金を交付した。

イ．診療技術研修会の開催

馬の診療技術者の養成及び生産技術の向上を図るため、1月29日～2月1日にJRA日高育成牧場で診療技術研修会（3名参加）を開催した。また、装蹄技術の向上及び護蹄管理の面から削蹄技術研修会（6月14日独立行政法人家畜改良センター十勝牧場、2月21日熊本県家畜市場）を開催した。

③優良農用馬資源確保のための緊急特別対策

ばんえい競馬の競走馬資源を確保するため、ばんえい競馬主催者である帯広市が競馬番組で定める2歳馬競走の優勝馬等の生産者に対して生産者賞を交付する事業に対して帯広市に助成した。

3．家畜改良体制運営事業

(社)家畜改良事業団が行う家畜改良データベースに種馬登録データの入力を行い、登録データの活用を図った。

4．褒賞の実施

農用馬等の生産振興を図るため、ばんえい競走の勝馬(4R)、種馬共進会等(9件)、全国装蹄競技大会優勝者に対して褒賞を行ったほか、根釧乗用馬生産者馬術大会等に対して後援(6件)を行った。

第2 広報事業（公益目的事業及び管理部門）

馬事関連情報、規程及び乗用馬市場開催の出場馬名簿等をホームページに掲載した。

第3 その他

1．会員の状況（平成25年3月31日現在）

団体会員 70団体（平成24年度中の退会1団体）

個人会員 31名（平成24年度中の入会2名、退会6名）

2．会議等の開催

当協会の事業運営について審議・協議するため、総会、理事会を開催した。

(1) 総会

①定時総会 6月1日 馬事畜産会館2階会議室

報告第1号 平成23年度（11月～3月）事業報告について

議案第1号 平成23年度（11月～3月）収支計算書（資金ベース）の承認に関する件

議案第2号 平成23年度（11月～3月）貸借対照表、正味財産増減計算書、及び財産目録並びに貸借対照表、正味財産増減計算書の付属明細書の承認に関する件

- 報告第 2 号 平成 23 年度（11 月～3 月）監査報告について
- 議案第 3 号 定款第 7 条の経費の負担（会費）に関する件
- 議案第 4 号 理事及び監事の報酬等に関する件
- 報告第 3 号 新たな会員の入会について
- 議案第 5 号 理事及び監事の選任に関する件
- 議案第 6 号 定款の変更に関する件
- 報告第 4 号 平成 24 年度事業計画書、収支予算書（資金ベース及び正味財産増減予算書）並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について

（2）理事会

- ①第 1 回理事会 6 月 1 日 馬事畜産会館 2 階会議室
 - 第 1 号議案 新たな入会希望者の入会に関する件
 - 第 2 号議案 平成 23 年度（11 月～3 月）事業報告の承認に関する件
 - 第 3 号議案 平成 23 年度（11 月～3 月）収支計算書（資金ベース）の承認に関する件
 - 第 4 号議案 平成 23 年度（11 月～3 月）貸借対照表、正味財産増減計算書、及び財産目録並びに貸借対照表、正味財産増減計算書の付属明細書の承認に関する件
 - 報告事項 平成 23 年度（11 月～3 月）監査報告について
 - 第 5 号議案 理事及び監事の選任に関する件
 - 第 6 号議案 定款の変更に関する件
 - 第 7 号議案 総会に附議すべき事項に関する件
 - 報告第 1 号 平成 23 年度（11 月～3 月）事業報告について
 - 議案第 1 号 平成 23 年度（11 月～3 月）収支計算書（資金ベース）の承認に関する件
 - 議案第 2 号 平成 23 年度（11 月～3 月）貸借対照表、正味財産増減計算書、及び財産目録並びに貸借対照表、正味財産増減計算書の付属明細書の承認に関する件
 - 報告第 2 号 平成 23 年度（11 月～3 月）監査報告について
 - 議案第 3 号 定款第 7 条の経費の負担（会費）に関する件
 - 議案第 4 号 理事及び監事の報酬等に関する件
 - 報告第 3 号 新たな会員の入会について
 - 議案第 5 号 理事及び監事の選任に関する件
 - 議案第 6 号 定款の変更に関する件
 - 報告第 4 号 平成 24 年度事業計画書、収支予算書（資金ベース及び正味財産増減予算書）並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について
- ②第 2 回理事会 6 月 1 日 馬事畜産会館 2 階会議室
 - 議案第 1 号 会長、副会長及び専務理事の選定に関する件
 - 議案第 2 号 定款第 7 条の経費（会費）の負担に関する件
- ③第 3 回理事会 11 月 1 日 馬事畜産会館 2 階会議室
 - 議案第 1 号 公益社団法人日本馬事協会定款の一部改正に関する件

- 議案第 2 号 公益社団法人日本馬事協会職員給与規程の一部改正に関する件
- 議案第 3 号 公益社団法人日本馬事協会種馬登録規程の一部改正に関する件
- 議案第 4 号 参与の任命に関する件
- 議案第 5 号 事務局長の任命に関する件
- 報告事項 会長及び専務理事の職務執行状況について

④第 4 回理事会 3 月 11 日 馬事畜産会館 2 階会議室

- 第 1 号議案 平成 25 年度事業計画書、収支予算書（資金ベース及び正味財産増減予算書）並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認に関する件

- 第 2 号議案 総会の招集及び総会に附議すべき事項の決定に関する件

- 第 3 号議案 総会に附議すべき事項の内容の承認に関する件

- 議案第 1 号 公益社団法人日本馬事協会定款の変更に関する件

- 議案第 2 号 公益社団法人日本馬事協会定款第 7 条の経費の負担（会費）に関する件

- 議案第 3 号 理事及び監事の報酬等の総額に関する件

- 第 4 号議案 常勤役員の本俸に関する件

- 第 5 号議案 新たな入会希望者の入会に関する件

- 報告事項 会長及び専務理事の職務執行状況について

(3) 監事監査 5 月 15 日 日本馬事協会会議室

(4) 検査の受検

- ①地方競馬全国協会による畜産振興補助事業に関する監査

11 月 20 日～21 日 馬事畜産会館 2 階会議室及び日本馬事協会会議室

- ②全国競馬・畜産振興会による J R A 事業に関する監査

7 月 11 日 日本馬事協会会議室

4. 役職員の異動

(1) 役員

- ① 6 月 1 日

理事退任 大西昭夫、枳穀勝久、田中勝己、千葉 伝

理事就任 杉野繁治、瀧澤義一

- ② 9 月 6 日

理事退任 倉澤景晴

- ③ 10 月 31 日

理事退任 栗本共明（事務局長及び業務部長事務取扱を解く）

(2) 職員等

- ① 11 月 1 日

参与任命 本藤一憲（事務局長及び業務部長事務取扱）

- ② 12 月 28 日

退職（常勤嘱託） 岡田和子

- ③ 3 月 31 日

総務部部長を解く 重田賢司（地方競馬全国協会からの派遣を解く）

退職（常勤嘱託） 伊東敏枝

< 特別会計 >

第1 馬の改良増殖、保護・利用増進及び馬事知識の普及事業（公益目的事業）

1. 馬事普及啓蒙推進事業

馬事知識の普及、馬の利用促進及び農用馬の生産振興を図るため、次の事業を行った。

(1) 馬事普及啓蒙対策事業

ホームページを改修するとともに、農用馬等に関する情報を提供した。

(2) 馬事普及のための特別対策事業

馬事知識の普及を図るため、①特定非営利活動法人とから馬文化を支える会が帯広競馬場で北海道和種馬を使用して行った伝統的運搬方法「駄付」の再現、②釧路農業協同組合連合会が行った農用馬を使用した体験乗馬及び写真撮影によるばんえい競馬のPR、③上川馬事振興会青年部が行った馬車体験及び馬櫓体験並びに乗馬体験、④根室馬事振興協議会青年部が行ったばんえい競馬ファンサービスとしての馬車体験等、⑤北海道軌用馬振興対策協議会が行った「全道祭典ばんば1才馬決勝大会」について、それぞれの開催経費を助成した。

(3) 馬事思想普及用機材の貸付事業

馬事思想の普及を図るため、特別区競馬組合及び神奈川県川崎競馬組合が開催日の来場者に配布するブックレットを提供した。また、関係団体にパネルの貸し出しやブックレットを提供した。

(4) 馬事普及関係資料の収集分析機器の設置事業

血統登録情報の管理システムの保守を行いながら、種馬登録に係るデータベースを作成し、提供した。

(5) 優良農用馬の生産振興対策事業

農用馬の生産振興のために、①実技を中心とした繁殖検診実習を企画し、軌系馬の繁殖技術者を養成し、管内獣医師及び関係者による研修会を開催した十勝農業協同組合連合会、②「馬肉消費拡大優良事例の視察を目的とした熊本での研修」及び「馬の飼養管理、繁殖管理等の習得を目的とした研修会」を開催した釧路農業協同組合連合会、③「馬の削蹄についての講習会」及び「今後の生産・改良に繋げるための十勝管内の優良馬産農家の視察」を実施した根室馬事振興協議会青年部会、④「相馬研究会」及び「優良多産馬の共通骨格を研究する研修会」を開催し、「ばんえい競馬ファンサービスとして馬櫓イベント」等を実施した上川馬事振興会青年部に対し、それぞれの活動費を助成した。

(6) 優良農用馬生産者の表彰事業

農用馬の生産意欲を増進するため、ばんえい競馬の生産の指標となる基幹2競走である「黒ユリ賞競走」と「イレネー記念競走」に出走した馬の生産者表彰式を3月24日に帯広市で開催した。

なお、表彰に当たっては、(財)馬事畜産会館の後援を受けた。

(7) 農用馬生産振興推進事業

地域の実態に即した農用馬の生産振興策を検討するため、東北ブロックは12月

13日に盛岡市において、西日本ブロックは2月22日に熊本市において、北海道ブロックは3月25日に帯広市において、それぞれブロック会議を開催した。

2. 在来馬種保存事業

在来馬種保存のため、次の事業を行った。

(1) 在来馬種の保存・利活用

在来馬の保存・利活用に必要な飼育管理費、保存活用研究費、施設等整備費等を全国8馬種の保存会へ助成した。

また、保存会関係者の飼養管理技術の向上等を図るため専門家を派遣するとともに、在来馬の保存・利活用を推進した。

(2) 絶滅が危惧される在来馬に対する対策

絶滅が危惧される3馬種（対州馬、宮古馬、与那国馬）については、馬種ごとに必要な施策（保護及び繁殖技術指導）を行うとともに、対州馬（5月22日、23日）及び宮古馬（2月6日～8日）につき、それぞれ指導調査を行った。

3. 馬能力向上推進事業（平成22～24年度）

国内生産馬の能力を向上させるため、次の事業を行った。

(1) 馬能力向上推進委員会の開催等事業

学識経験者等からなる推進委員会及び専門委員会を開催し、馬事関連団体の連携システムの構築及び国内生産実態に即した馬能力評価方法の作成のための検討を行った（馬能力向上推進委員会：5月16日、3月13日、馬事関連団体連携委員会：8月22日、2月15日、国内生産馬能力評価方法検討委員会：10月9日、2月27日開催）。

(2) 情報一元化システムの整備事業

平成23年度に構築した馬事関連団体の連携システムのなお一層の利便性の向上を図るため、検討会を行うとともに広報活動を行い利用拡大に努めた。

(3) 馬能力評価方法の調査検討事業

帯広畜産大学に委託して、馬の能力評価手法のプロトタイプを作成した。

4. 馬人工授精普及定着化事業（平成23～25年度）

馬人工授精技術の普及・定着のため、次の事業を行った。

(1) 事業推進委員会の開催

学識経験者等からなる推進委員会（5月18日）を開催し、事業の効率的な推進等について検討を行った。

(2) 優良種雄馬の凍結精液の製造・保管

優良な種雄馬の凍結精液を製造・保管・配布するために、精液採取を行う種雄馬を遠野馬の里に繋養して凍結精液の製造を試みたが、耐凍性に問題があったため、凍結精液の製造を取り止めた。

(3) 馬人工授精普及定着化巡回指導事業

生産現場における馬人工授精の普及定着を図るため、3月15日栃木県鍋掛牧場で研修会を開催した。

※ 平成24年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。